

D 東山田駅散策コース

歩行距離 約7.0キロ。11,670歩 2時30分（但し、ポイント毎に10分の休憩見込む）

東山田駅→鎌田堂→東山田郷土資料館→観音寺→東山田公園→横浜国際プール→山田富士公園→（山田富士）→長泉寺→のちめ不動→長屋門→東山田駅

*寺院などを訪れふるさとの歴史にふれる少しアップダウンのあるコースです。



中原街道沿いに歩きます



鎌田堂の六体のお地藏さん

鎌田堂（北面地藏）

堂の背後に源義朝の家臣、蒲田兵衛正清の居城館があったことから鎌田堂といいます。正清にまつわる地名や言い伝えが残っています。中興の祖は仏譽常心（フツゾヨウシン）で念仏道場として栄え、現在も所願成就のお地藏様として信仰を集めています。

東山田郷土資料館

縄文遺跡の上に建ち、約3500年前の囲炉裏跡を保存しています。発掘された土器類を始め、江戸時代からの生活民具や農機具など収蔵数約1万点。「シルクロード仏陀の変遷」をテーマとした石仏など保存展示しています。開館日は水曜日で予約を必要とします。

観音寺

貞観年中（860年）僧、安然により開基、中興の祖は堯観上人と伝えられています。古くから存する板碑4枚のうち建武4年（1337年）とのみ判読できるものがあります。現存する念珠は大き過ぎて50畳の現在の本堂では使えません。

D 東山田駅コース





東山田資料館で館長の説明を聞く



展示されている生活民具



美しいの観音寺の本堂



市の名木古木に指定されている大銀杏

山田富士公園

山田富士の東側の稲荷谷は、以前は水田が広がり稲が栽培されていました。港北ニュータウンの造成により、谷は埋め立てられ、湧き水を利用して池が造られ公園となりました。広い広場では凧揚げなども出来ます。

山田富士

富士信仰の山として築られました。北山田にある富士塚は驚くほど富士山に似せて造られ、頂上まで登ると噴火口があり、お鉢めぐりも出来ます。ふもとに咲く桜も見事です。



東山田公園の展望



国際プールの天空広場からの眺望

長泉寺

真言宗豊山派に属し本尊は不動明王。寺の入口の左右に風雨にさらされてきた石の仁王像が建っています。本堂の左手には鐘つき堂が、右手の大きな銀杏の根元には穏やかな表情の六地藏が並んでいます。長泉寺の「どんと焼き」 正月14日に門松しめ縄などを持ち寄って焼く行事で、この日の前に作った団子を三叉の榎の木に刺して、セイノカミの残り火で焼いて食べます

のちめ不動

江戸時代後期にのちめの住民が、八王子から不動尊を背負ってきてこの地に祀り、それ以来守り神として護持してきたと言われていています。ご本尊修復のとき志村又衛門(当時の旗本)の名が残されていました。

長屋門

旧山田村は、八王子千人同心・志村氏の知行地。江戸時代末期、当時の名主栗原七郎工門建主の名主門。明治末期までは茅葺であった屋根裏から正徳元年の高札も発見され、東山田郷土資料館に展示されています。



東山田富士公園



のちめ不動

地名の由来

- 山田 (やまた) 山間の田の多い場所につけられた地名
- 芝生 (しばう) 芝草地あるいは雑木林の多い場所のこと
- 城山 (じょうやま) 山田城址を言う。城は蒲田正清の居城
- 道中坂 (どうちゅうざか) 中原街道にある坂。坂の途中に鎌田堂があり、その脇を通る坂の事
- 打越 (おっこし) 山道を登り峠を越えた場所。丘陵地に多い地名
- 富士谷 (ふじやと) 富士塚に由来する地名
- 稲荷谷 (いなりやと) 山田富士公園の東側に十二柱稲荷神社がある。
稲荷は五穀 (イネ・ムギ・アワ・キビ・マメ) の神として祀った
- 二注連谷 (にしめやと) 西メ、ニメなどと書く。またノッチメという。境界の場所に付けられた地名。ニは木のこと
- 百石橋 (ハッコクバシ) 小川に架けられた橋で水温地名。川水は北山田の富士谷から流れてくる小川で水路は地下を流れる



観音寺の境内で見つけた武州都筑郡山田村の石柱



名主門 現在お住まいの方がいるので入れません